

# 健康福祉科学専修 保健医療福祉の実践者(健康行動科学領域) 履修モデル

## 【期待される能力・修了後の主な進路】

健康行動科学の実践能力を基礎に、福祉実践との連携を視野に入れながら、様々な健康行動過程の変容について、評価、教育の両面からエビデンスに基づいた企画立案や提案ができ、その管理運営やマネジメントにおいてリーダーシップを担うことができる。

修了後は、保健医療福祉機関等において、指導的な立場で企画立案を実践する。

### 2年次

#### 【専門科目】

健康運動実践学特論(2)

健康福祉科学演習(行動科学因子)(2)

#### 【特別研究】

健康福祉科学特別研究(10)

### 1年次

#### 【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

#### 【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉学研究法特論(2)

保健医療福祉とリハビリテーション(2)

高次脳機能と病態制御(2)

予防医科学特論(2)

#### 【専門科目】

健康福祉科学特論(2)

健康福祉評価論(2)

健康支援カウンセリング論(2)

健康教育評価法(2)

福祉工学論(2)

## 【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

「生命科学」、「社会科学(含む行動科学)」、および「情報科学」等を駆使して、人々の健康に関して多角的なアプローチに興味・関心を有する者を求める。的確に情報を読み解き、納得いくまで考えて消化し、自分の言葉でわかりやすく伝える能力を有する者が望ましい。